

特集

保健師を成長させる 家庭訪問



保健師基礎教育の現状では実習での家庭訪問件数は少なく、就職後に地区担当の機会を逃すと、家庭訪問をしないまま中堅期を迎えることもある。しかし、保健師の成長に「家庭訪問」の経験は重要である。保健師は家庭訪問を重ねる中で、保健師としてのさまざまな技術や視点を学んできた。その成長の仕組みや現場での取り組み事例を紹介する。

- 保健師活動の原点としての家庭訪問
家庭訪問の機能と技術
- 大学教育における家庭訪問実習で大切にしたいこと
- 「死にたい」と訴える市民への家庭訪問
保健師の学びと成長
- 地区担当業務を優先した体制整備で家庭訪問の充実を図る
須賀川市の取り組み
- 事例検討会による保健師の家庭訪問の力量形成
職場の事例検討会から